



2024年5月27日

各 位

会 社 名 日本パレットプール株式会社  
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 浜島 和利  
(コード番号:4690) 東証スタンダード市場  
問合せ先 取締役経営推進本部長 山西 孝  
(TEL: 06-6373-3231)

### 経営計画のローリングに関するお知らせ

当社は、2024年5月27日、「経営3カ年計画2024」の一部修正を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

#### 記

##### 1. 経営計画一部修正の経緯

当社は、2022年5月9日に2022年から2024年までの「経営3カ年計画2024」を策定し公表しましたが、2023年度終了時点での諸施策の取組み状況及び2024年度計画について一部修正しました。

##### 2. 「経営3カ年計画2024」(2024年4月 ローリング版) 別添のとおり

以 上

# 経営3カ年計画2024 (2024年4月 ローリング版)

”NEW CHALLENGES WITH CLIENTS”  
～新たな挑戦 お客様とともに～



日本パルプ株式会社

NEW CHALLENGES WITH CLIENTS

# 1. “経営3力年計画2024”目標数値の修正

## 収益目標

単位：百万円

	2022年度実績	2023年度実績	2024年度予測
売上高	7,394	7,582	7,650 (7,650)
営業利益	984	778	1,050 (1,050)
経常利益	1,117	874	1,150 (1,150)
当期純利益	833	527	850 (850)

( )内赤字は昨年ローリング時目標数値

## KPI

目 標

2023年度実績

ROE(自己資本当期利益率)	10%以上	8.7%
EPS(1株当り純利益)	300円以上	313円
自己資本比率	45%程度	56.6%

## 2. 業績推移(1)

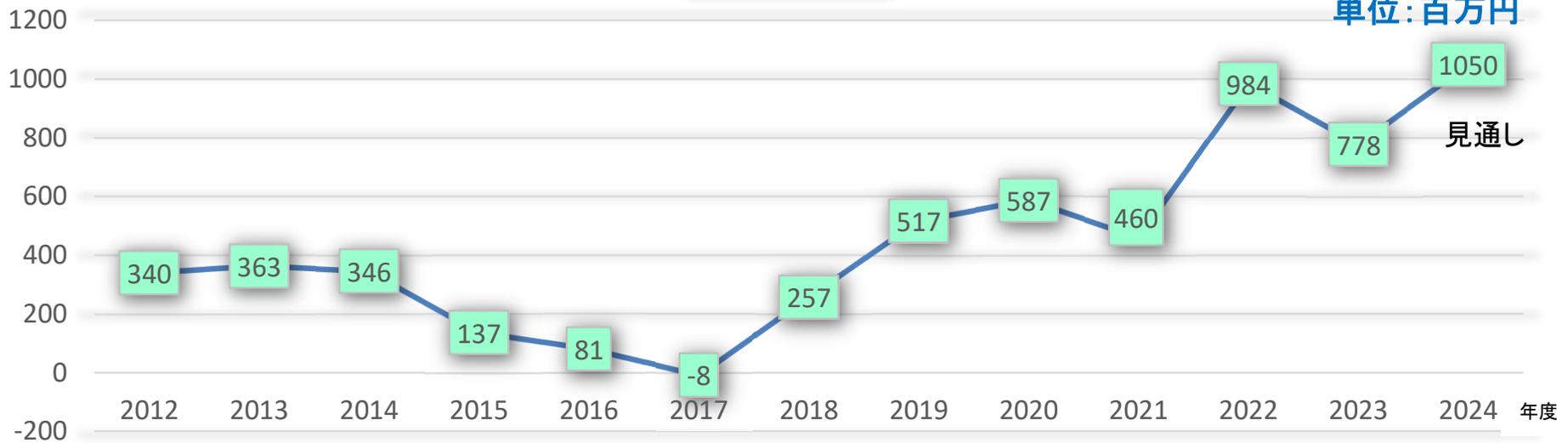
### 売上高

単位:百万円



### 営業利益

単位:百万円



## 2. 業績推移(2)

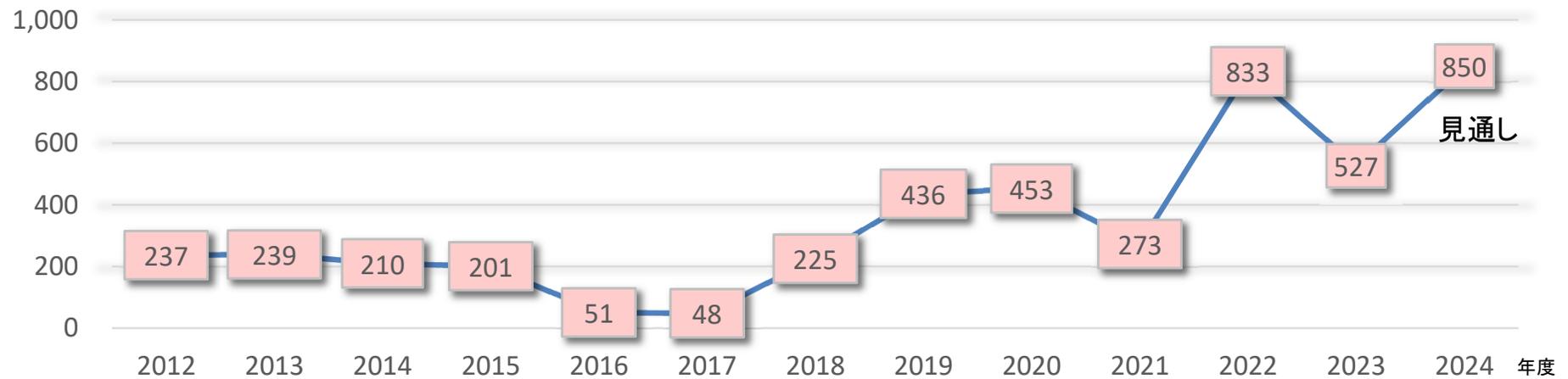
### 経常利益

単位:百万円



### 当期純利益

単位:百万円



### 3. 2022～2023年度の振り返り(1)

#### 重点施策Ⅰ コア事業の拡大と新規事業の展開

##### 1. コア事業の拡大

###### ● レンタル事業

石化関連 取り扱いの深耕・料金改定・レンタル拡販

ネステナー等 機器レンタルの拡販

新商品・サービスの開発推進

ボックスパレットのレンタル開始

フクLOWパレットの拡販

###### ● 販売事業

ネステナーの拡販 (一般顧客・日通扱いでの伸長)

フォールドデッキの拡販

アシストスーツの拡販

メッシュボックスパレットの販売取り扱い開始

###### ● 付帯事業

パレット修理・洗浄業務の獲得

拡販用パンフレットによる営業展開

##### 2. 新規事業の展開

- ものづくり企業との提携・連携強化 工作機器メーカーとの新商品開発

### 3. 2022～2023年度の振り返り(2)

#### 重点施策Ⅱ 事業運営体制の強化

##### 1. デポ運営

- 拠点の再編 新設デポ運用開始（水島、篠栗、稲沢、九州名鉄 ほか10デポ）  
駅パレの設置（熊本、仙台ほか）
- 拠点機能の強化 水島デポ 選別機・洗浄機の導入

##### 2. 輸配送・回収

- ネットワークの効率化 輸配送ルートの見直しによる効率化  
広島・岡山エリアでの配送の効率化
- モーダルシフトの展開 コンテナ輸送、船舶を活用した輸配送の効率化

##### 3. DXの推進

- 電子契約システムの拡充等 電子契約140社登録 総務業務システムの機能強化
- 電子請求書の導入
- 受発注・回収システム 導入に向け開発取組中
- インボイス制度の導入対応

##### 4. 人材育成

- キャリア採用の継続実施
- 新卒社員採用の継続実施
- 女性管理職の登用
- 日本能率協会等外部機関を活用した階層別等の教育実施、教育訓練計画の策定

### 3. 2022～2023年度の振り返り(3)

#### 重点施策Ⅲ ESG経営への取り組み

##### 1. Environment

- CO2排出量の削減  
JRコンテナ・船舶利用による削減継続  
「NPPの森」育林活動
- 廃パレットの完全リサイクル継続
- ペーパーレス化の推進

##### 2. Social

- 社会貢献の推進  
オレンジリボン運動、ベルマーク・ペットボトルキャップ収集の継続実施  
フェアトレード商品の紹介による啓蒙活動の展開
- 働き方の改革  
テレワーク・時差勤務の制度化・被服貸与の廃止

##### 3. Governance

- コーポレート・ガバナンスの水準向上  
コーポレートガバナンス・コードの遵守  
指名報酬委員会(4月)・取締役会実効性評価の実施(11月)・保有株式の検証(7月)
- 内部統制機能の更なる強化  
内部統制システム基本規則の制定、規則・規程・要領等、社内ルールの全般的見直し
- コンプライアンスの強化  
eラーニングシステムを活用したコンプライアンス教育の実施 (年6回実施)  
コンプライアンスアンケートの実施 スマホを活用した災害発生時の報告要領整理

## 4. 2024年度の取り組み(1)

### 重点施策Ⅰ コア事業の拡大と新規事業の展開

#### 1. コア事業の拡大

##### ● レンタル事業

素材系・原料系メーカーを中心としたレンタル拡販

2024年問題を切り口としたソリューションビジネスの展開

石化エンドユーザー再レンタルの推進

料金定額制レンタル商品・廉価版レンタルパレットの発売

環境配慮商品・サービスの提供

ネステナー等機器レンタルの拡販

新商品・サービスの開発推進

フクLOW付パレットの拡販

ボックスパレット他 ラインナップの拡充と更なる拡販

新規拡販に加え既存顧客への拡販展開

##### ● 販売事業

輸出用ワンウェイパレット・ネステナーの拡販

フォールドデッキ・アシストスーツの拡販

メッシュボックスパレットの販売取扱い開始

##### ● 付帯事業

パレット管理業務・パレット洗浄業務の獲得

#### 2. 新規事業の展開

##### ● ものづくり企業との提携・連携強化

## 4. 2024年度の取り組み(2)

### 重点施策Ⅱ 事業運営体制の強化

#### 1. デポ運営

- 拠点の再編・機能強化  
基幹デポの機能強化  
駅パレの拡大、取扱い商品の拡大  
JR貨物と連携した貨物駅へのデポの展開

#### 2. 輸配送・回収

- ネットワークの効率化 全体最適を考慮したパレットの運用
- モーダルシフトの展開 回送パレットの鉄道コンテナ・船舶の更なる活用

#### 3. DXの推進

- 受発注・回収システムの導入
- 営業支援システムの導入 現行システムの見直しと効率的な運用化
- 電子契約システムの更なる利用拡充
- フクLOWシステムの機能強化

#### 4. 人材育成

- 戦力構造の変革に向けた諸条件の整備
- 異業種からの中途採用・新卒社員採用の継続実施
- 新規採用者教育を中心とした教育訓練計画の見直し

## 4. 2024年度の取り組み(3)

### 重点施策Ⅲ ESG経営への取り組み

#### 1. Environment

- CO2排出量の削減  
水島デポへのソーラーパネルの設置、  
拠点間回送の削減・モーダルシフト(JRコンテナ・船舶利用)拡大
- 廃パレットの完全リサイクル継続
- ペーパーレス化の推進

#### 2. Social

- 社会貢献の推進  
オレンジリボン運動、ベルマーク・ペットボトルキャップ収集の継続実施
- 働き方の改革  
テレワーク・時差勤務・ユニフォーム貸与等制度化

#### 3. Governance

- コーポレート・ガバナンスの水準向上  
執行役員制度の機能化  
コーポレートガバナンス・コードに対応した業務運営の更なる見直し(継続)
- 内部統制機能の更なる強化  
組織的なリスク管理体制の構築、社内諸規程の継続的な見直し 内部監査機能の強化
- コンプライアンスの強化  
CSR委員会の機能強化、eラーニングシステムを活用したコンプライアンス教育の実施  
コンプライアンスアンケートの継続実施 災害等リスク管理体制の再構築

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基づくもので、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包しており、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。こうしたリスク、不確実性及びその他の要素には、当社の最新の有価証券報告書、四半期報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。